

# りそな 経済フラッシュ

## (米国FOMC)

◎注意事項をよくお読み下さい



### ◎概況

- ◆ FRBは3/19-3/20のFOMCにて市場の予想通り、政策金利の据え置きを決定した。据え置きは5回連続。
- ◆ 注目されたドットチャート（政策金利見通し、右下図）では、2024年の利下げ回数が中央値として3回が維持され、市場に安心感を与えた。
- ◆ QT（量的引き締め）縮小について具体策は提示されなかったが、パウエル議長は記者会見にて、次回の会合にも開始される可能性を示唆した。

- ✓ FRBは3/19-3/20のFOMC（連邦公開市場委員会）で、政策金利であるFF金利の誘導目標を5.25～5.50%で据え置いた（全会一致）。5回連続の据え置きで市場予想通り。声明文の内容は1月時点のFOMCとほぼ同じ内容であった。
- ✓ 今回更新された経済物価見通しではGDP成長率とインフレ率の予想が引きあがった一方、失業率の予想は引き下がった。注目されたドットチャート（FOMCメンバーの政策金利予想、右下図）では、2024年の利下げ回数が中央値として3回が維持された一方、2025年の利下げ回数は4回から3回に減少し、中長期的な均衡点を表すロンガーラン金利も2.5%から2.6%へ、僅かに引き上がった。あくまでFOMCメンバーそれぞれの予想の中央値であるが、今年の利下げは従来見通し通り行われる一方、その後の利下げペースは緩やかとなり、従来予想よりも利下げが早く終了する可能性を示した形となる。QT（量的引き締め）の縮小については、具体策は示されなかった。
- ✓ パウエル議長の記者会見は前回同様、ハト派的な姿勢を貫いた。利下げ開始時期は「年内のある時点」、QT縮小については「かなり早期に」と、具体的な時期の言質は与えなかったが、いずれも5月から6月には実施される可能性がある。
- ✓ 今回のFOMCでの最大の注目点は利下げ開始時期と2024年の利下げ回数であったが、いずれも市場の想定を後退させるような材料はなく、市場に安心感が広がった。一方、2025年の利下げ回数が減少し、ロンガーランが引き上がったことは中期的に金利が高止まりする可能性がある。また、足元でインフレが再加速しつつあるなかでハト派を貫いた姿勢には、やや楽観的であると懸念する見方もある。足元は株高・金利低下・ドル安の反応となっているが、5月から6月にかけては、再びボラティリティが高まる可能性もあるだろう。

### FOMCメンバーの景気・物価見通し（3月会合）

【出所】FRB

	2024	2025	2026	長期
実質GDP	2.1	2.0	2.0	1.8
2023年12月時点	1.4	1.8	1.9	1.8
失業率	4.0	4.1	4.0	4.1
2023年12月時点	4.1	4.1	4.1	4.1
コアPCEインフレ率	2.6	2.2	2.0	-
2023年12月時点	2.4	2.2	2.0	-

※PCE: Personal Consumption Expenditure、個人消費支出  
長期はコアではなく総合

### FOMCメンバーの政策金利見通し（3月会合）

※数字は人数、黄色は中央値

	2024		2025		2026		Longer run	
	12月	3月	12月	3月	12月	3月	12月	3月
5.500								
5.375	2	2	1	1				
5.250								
5.125	1	2						
5.000								
4.875	5	5			1	1		
4.750								
4.625	6	9						
4.500								
4.375	4	1	1	2				
4.250								
4.125			1	1				
4.000								
3.875	1		4	6				
3.750							1	1
3.625			3	5	1	1		
3.500							2	2
3.375			5	1	1	2		
3.250								
3.125			2	2	4	6		1
3.000							1	3
2.875			1		4	5	1	
2.750							1	1
2.625				1	4	1	1	1
2.500					1	1	8	8
2.375			1		3	2	3	1
2.250								
2.125								
平均値	4.704	4.809	3.612	3.783	2.947	3.066	2.729	2.813
中央値	4.625	4.625	3.625	3.875	2.875	3.125	2.500	2.625

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。